

第1回学校運営協議会議事録

		校名	府立東百舌鳥高等学校
		校長名	三宅 恭子
開催日時	令和6年6月25日(火) 15:00 ～ 17:00		
開催場所	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 会議室		
出席者(委員)	青木浩子 会長、梶山尚也 副会長、田村徳子 委員、阿部勝彦 委員		
出席者(学校)	三宅恭子 校長、伊藤弓子 教頭、平井啓一 事務長、中尾直美 首席、西川英志 首席、郡山鷹子 指導教諭、真島匠 教諭、赤井正登 教諭、石川 朗子 教諭、宮本晋一 教諭、富田静代 教諭、二階堂知子 教諭、釋水明章 教諭、梁瀬智里 教諭		
傍聴者	0名		
協議資料	・令和6年度 学校経営計画 ・令和6年度 学校教育計画 ・令和6年度 学校教育目標の自己評価		
備考			
議題等(次第順)			
1.学校運営協議会長・副会長の選出 2.学校長挨拶 3.会長挨拶 4.学校運営協議会委員及び事務局関係者自己紹介 5.協 議 (1)令和6年度 学校経営計画について (2)令和6年度 学校教育計画について (3)令和6年度 学校教育目標の自己評価について (4)令和6年度 使用教科用図書の選定について 6.その他			
協議内容・承認事項等(意見の概要)			
1.今年度、学校運営協議会会長は青木浩子氏、副会長は梶山尚也氏が互選により選出された 5.(1)学校経営計画は満場一致で承認された ●主な質疑・提言等 ・(昨年度から導入された「百問繚乱」について)採点システムの活用状況についてはどうですか？ ⇒ほとんどの教員が活用している。まだ慣れていないのでやや時間がかかるものの、確実に円滑化できている。 ・(教務部がおこなっている)「ひがも塾」の活動は継続することが難しいと思うが、今後継続するために考えていることはあるか？ ⇒大阪公立大学の学生は熱心に来てくれるが、テスト期間等、様々な事情がある。そのため、教育産業等の活用についても検討している。 ・(行事活動部の部活動関係の廃棄物について)過去、20年分のゴミを処分したとは部活動のものか？ ⇒先輩方から受け継いできたものの中に使用できないものも多かったため、廃棄することができないかという部活動リーダーから申し入れがあり、ごみ処理を実施した ・(「学力生活実態調査」の結果を受けて)2年生はGTZだけでなく、偏差値を生徒に示した理由は何か？ ⇒難易度別に3段階に分けられており、GTZでないとい全体の位置づけは難しいが、保護者の方が理解しやすいようにあわせて、偏差値で示した。			

・(進路指導部について)生徒の英検の申し込みが減少した理由は？

⇒担任が一括して、生徒に確認して申し込みができなくなったのも理由の1つとして考えられる。現在は、生徒が個別にアカウントを作成して、申し込み、入金までするという、生徒の自主性によるところとなっている。

・GTECなどもあるが、なぜ英検を実施しているのか？

⇒英検は会場実施がある。その他の英語の検定試験は校内実施が多く、校内で放課後に実施して、解答を当日中に速やかに送付するなど、煩雑な業務が発生するため、実施が難しくなっている。

・(今年度から導入した学習支援クラウドサービスについて)学習支援クラウドサービスとはどういったものか？

⇒自学自習を支援でき、様々なレベルの学習動画を持った教育プラットフォーム。校務を支援できるようなお知らせや欠席連絡の機能もある。導入初年なので、今後、これまでの実態等をふまえて活用方法を検討する

●ご意見・ご感想

・多岐にわたって様々な計画を立てていると感心。行事活動部担当の中区での高校同士を結び付けられるような活動ができれば良いと感じる。(生徒指導部や行事活動部の試みを受けて)中区が進めている取組みのアンケート、ヒアリングなどにご協力いただければ幸い。

・2年生の基礎ワークブックによる基礎学力の伸長を図る取組みはとても良い。学校全体の取組みにできれば良いと感じた。

・学校のタスクが増加しており、その対応に感心する。採点システムや入試システムへの対応も柔軟にしている。生徒に対する指導も十全であり、今後の成長を期待できる。

次回の会議日程

日時	令和6年10月29日(火) 14:15 ~ 16:15
会場	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 校長室